

## 醸造環境科学特論実験 (2単位)

担当者氏名 鈴木昌治・額田恭郎・藤本尚志・矢島新・大西章博

### ◆学習・教育目標

醸造環境科学分野で、取り組んでいる研究テーマを解説すると共に、テーマごとに関連する基礎実験と応用実験を個別指導する。これにより幅広く、かつ高度の実験手法と技術を修得していく。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

バイオマス                      変換技術                      有害藻類                      糖質化学  
生理活性物質                      化学構造決定                      有機合成                      \_\_\_\_\_

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	バイオマス由来燃料の 開発と利用 (1-8)	生物学的なエネルギーへの変換技術 の研究	
15	水源における有害藻類 の制御 (9-15)	有害藻類のモニタリング、系統解析、 生態の解明と処理対策の研究	
16	生理活性化合物の合成 (16-20)	糖鎖関連研究。生理活性化合物の探索 と利用・応用を目的とした化学構造決 定、作用機作の解明および合成等の研 究	
30	糖質化学 (21-25) 天然生理活性物質の合 成研究 (26-30)		

### ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

資料プリントを配布する。

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

### ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

総合的に評価する。

### ◆その他受講上の注意事項